

6 月 14 日 : VN 指数は引けにかけて大幅下落(VN-Index -1.66%)

- VN 指数は前場では活況な取引の中で 1300 ポイントの支持線付近を推移した。
- 銀行セクターが指数をどうにか牽引したが、食品飲料、小売りセクターが下落し、その上昇の重しとなった。
- 前場の展開から一転、後場では利益確定のためと思われる売りが引けにかけて徐々に加速し、指数を引き下げていった。
- 銀行、金融、食品飲料セクターが主要な下落セクターであった。
- 89 銘柄が上昇、366 銘柄が下落、52 銘柄が変わらずとなった。
- 流動性は 27.6%上昇し、29.0 兆ドンであった。

VN30 指数も下落 (VN-30 -1.30%)

- 大型株で構成される VN30 指数は、2 銘柄が上昇し、28 銘柄が下落した。
- 構成銘柄の中では SSB (+1.38%)、FPT (0.77%)だけが上昇を記録した。
- 一方で GVR (-6.65%)、PLX (-4.03%)、VPB (-3.86%)などが大幅に下落した主要な銘柄であった。

セクター・個別株の動き

- PET (-6.43%)は今朝行われた第二回年次株主総会において、3 名の取締役を解任するとともに、社外取締役が職務違反を起こしたことを明らかにした。また、同社は 2025 年にペトロベトナム社からの投資を解消されることが分かっている。
- DIG (-2.84%)は 3000 億ドンの資本金を持つ子会社である Vung Tau Center Point Co., Ltd の解散を承認した。同社はこれで 11 の子会社、5 の関連会社、1 つの合併会社を運営することになる。
- 外国人投資家は 5710 億ドンを売り越した。FPT (-1.52%)、VHM (-0.13%) は 1000 億ドンを超える売り越しを記録した一方で、SSI (-1.10%)、MSN (-0.76%)、DGC (-1.30%)などは買い越された。

ディスクレイマー

このニュースは、投資の参考となる情報の提供を目的としたもので、投資勧誘を目的として作成したものではありません。投資に関する決定はご自身の判断でなされますようお願い申し上げます。このニュースは、信頼できると考えられる FiinPro という情報源に基づいて作成されていますが、その情報の正確性、完全性を保証するものではありません。このニュースは、Japan Securities Co., Ltd (JSI)から直接提供するという方法でのみ配布いたしております。このニュースのいかなる部分も一切の権利は JSI に帰属しており、電子的または機械的な方法を問わず、いかなる目的であれ、無断で複製または転送等を行わないようお願いいたします。